

初版2023年10月1日

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:	トラスコシリコンシーラント ホワイト
供給者の会社名称、住所及び電話番号:	トラスコ中山株式会社
	東京都港区新橋四丁目28番1号
	0120-509-849
FAX番号:	0120-509-839
緊急連絡電話番号:	上記
緊急連絡先:	上記
推奨用途及び使用上の制限:	住宅用シーリング材 所定の用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない

環境に対する有害性

誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 短期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き:

安全対策

ガスの吸入を避けること。(P261)
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P333+P313)

廃棄

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分:

混合物

化学名又は一般名:

シリコンシーラント

成分	含有量	CAS番号	備考
メチルトリス(エチルメチルケトオキシム)シラン	1~10%	22984-54-9	
ビニルトリス(メチルエチルケトキシム)シラン	0.1~1%	2224-33-1	
酸化チタン	1~10%	13463-67-7	
アミノエチルアミノプロピルトリメトキシシラン	0.1~1%	1760-24-3	

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:

必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。
皮膚を速やかに洗浄すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。
皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合:

水で数15分以上、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合:

医師の診断、手当てを受けること。
直ちに水で口の中を洗浄すること。
直ちに医師の診断、手当てを受けること。

医師に対する特別注意事項:

無理に吐かせないこと
情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

泡、二酸化炭素または粉末消火剤で消火する。

使ってはならない消火剤:

棒状注水

特有の危険有害性:

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動は可能な限り風上から行い、状況によっては呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

下水溝、水路または地面に侵入しないようにする。

少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。

大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

環境に対する注意事項:

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

二次災害の防止策:

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

適切な全体換気・局所排気装置を設置する。

清潔な水の入った洗眼用ボトル。

局所排気・全体換気:

取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。

安全取扱い注意事項:

取扱いは保護眼鏡、保護手袋、呼吸用保護具を使用する。

着火源から離して保管する—禁煙。湿気を遮断すること。

開封後の容器はシールし、できるだけ早く使い切る。

硬化時にメチルエチルケトオキシム(MEKO)が発生する。

換気のよい場所でのみ取り扱う。

蒸気およびスプレーミストの吸入を避ける。

適切な手袋および眼/顔面用保護具を着用する。

眼、皮膚、衣服への接触を避ける。

取り扱った後、手を洗うこと。

取扱中は飲食禁止および禁煙。

接触回避:

衛生対策:

保管

保管条件:

密閉し、屋内冷暗所に保管する。

ラベルも参照ください。

8. ばく露防止及び保護措置

暴露限界値

データ無し

保護具

呼吸器の保護具:

MEKO濃度が暴露限界濃度(推奨される作業環境暴露濃度ガイドラインは8時間TWAで3ppm以下)を超えた場合には有機ガス用ガスマスクを着用する。

手の保護具:

耐化学性手袋

眼の保護具:

側面シールド安全メガネ

皮膚及び身体の保護具:

耐化学性衣服 安全靴

衛生対策:

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

色

白色

臭い

微臭

融点/凝固点

該当しない

沸点又は初留点及び沸騰範囲

該当しない

可燃性

データ無し

爆発下限及び爆発上限界/可燃限界

データ無し

引火点

81℃

自然発火点

450℃

分解温度

データ無し

pH

データ無し

動粘性率

データ無し

溶解度

水に不溶

n-オクタノール/水分配系数(log値)

データ無し

蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	約1.03g/cm ³ (23°C)
相対ガス密度	該当せず
粒子特性	データ無し
不揮発分:	約98%

10. 安定性及び反応性

反応性:	推奨どおりに使用すれば、危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性:	通常の取扱では安定である。
危険有害反応可能性:	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件:	熱、火花、裸火から離しておく。
混触危険物質:	湿気。強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解が起こる。
危険有害な分解生成物:	水/湿分と反応してメチルエチルケトオキシム(MEKO、2-ブタノン-オキシム)を生成する。空気中において150°C以上で加熱すると、酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	データ不足のため分類できない
急性毒性(経皮):	データ不足のため分類できない
急性毒性(吸入:蒸気):	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性・刺激性:	データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作: データ不足のため分類できない。 皮膚感作性: 混合物として区分1に分類される。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できない
発がん性:	データ不足のため分類できない
生殖毒性:	データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):	データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):	データ不足のため分類できない
誤えん有害性:	データ不足のため分類できない
その他の影響:	本品が、水や空気中の湿気との接触時および硬化時に発生するメチルエチルケトオキシム(MEKO)の有害性 皮膚刺激性 : 軽度の皮膚刺激性あり。 眼刺激性 : 強い刺激性あり。腐食性の障害を生じることもある。 急性経口毒性 : ラット LD50 4 ml/kg 急性吸入毒性 : ラット LC50 > 4.8 mg/l/4 H 吸入毒性 : 高濃度で一時的な麻酔作用がある。 血液の機能への影響がある。 皮膚感作性 : 陽性(モルモット)。人に対するアレルギー反応はなし。 神経毒性 : 高濃度で一時的な運動機能低下(ラット) 発癌性 : 高濃度(375 ppm)でのラット及びマウスの生涯試験(約2年間)でオスにのみ肝腫瘍の発生が見られた。 その他の長期暴露試験 : ラット及びマウスでの嗅覚上皮細胞の退化が観察された。 許容濃度 : TWA 3 ppm(原料供給者推奨値), STEL 10 ppm内になるよう十分換気し、維持管理すること。 A I H AのW E E L 勧告値は、TWA 10 ppmである。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):	データ不足のため分類できない
水生環境有害性 長期(慢性):	データ不足のため分類できない
生態毒性:	情報無し
残留性・分解性:	情報無し
生態蓄積性:	情報無し
土壌中の移動性:	情報無し
オゾン層への有害性:	当該品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない為、分類出来ない。

13. 廃棄上の注意:

化学品、汚染容器及び包装の安全で、
かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクル
に関する情報

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地
方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理す
る。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充
分告知の上処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

該当しない

品名(国連輸送名)

該当しない

国連分類

該当しない

容器等級

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

国内規制

指針番号:

該当しない

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法、港則法、海洋汚染防止法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

特別の安全対策

消防法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物(法第57条の2)

酸化チタン(IV)

名称等を表示すべき有害物(施行令第18条)

酸化チタン(IV)

消防法:

指定可燃物(可燃性固体類) 火気厳禁

化学物質管理促進法(PRTR法):

該当せず

毒物及び劇物取締法:

該当せず

海洋汚染防止法:

該当せず

16. その他の情報

引用文献

- 1) 化学物質等安全データシート(MSDS)ー第1部:内容及び項目の順序
- 2) 製品安全データシートの作成指針(改訂版)、社団法人日本化学工業協会
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 化学物質の危険・有害性便覧 中央労働災害防止協会
- 5) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253:2019

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成いたしておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする等の場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。